

# 時代を撃つ文学

## 夏目漱石 と 大江健三郎



講演

小森陽一



いつも憂い顔だった夏目漱石、ノーベル賞を受けて「あいまいな日本の私」と講演で語った大江健三郎。明治、昭和と、時代は離れた二人の文学者ですが、それぞれの時代の「戦後」を生きて、人々の思いを文学に表現してきました。

漱石は、日露戦争後の庶民の困窮と、それとは真逆の軍事国家の高揚感、その矛盾する時代精神を見つめました。

大江健三郎は、敗戦後の日本が経済大国の幻を追い、明確な明日を展望できない状況に対峙してきました。

漱石研究の第一人者で、大江健三郎の思いと行動を共にしてきた小森陽一氏に、二人の文学と生き方の魅力を語っていただきます。

小森陽一（こもりよういち）

夏目漱石研究の第一人者。九条の会事務局長。1953年東京生まれ。北海道大学卒、同大学院博士課程修了。成城大学文芸学部助教授、東京大学大学院総合文化研究科教授を経て、明治学院大学客員教授。和光学園理事長。専門は日本近代文学、言語態分析。主な著書に『歴史認識と小説—大江健三郎論』『漱石論 21世紀を生き延びるために』『戦争の時代と夏目漱石 明治維新 150年に当たって』『感染症の時代と夏目漱石の文学』など著書多数。

5月11日(木)

18時30分開演(18時開場)

### 高津市民館 大ホール

JR南武線「武蔵溝ノ口」、東急田園都市線「溝の口」駅下車徒歩5分(マルイビル-12階)

◆事前申込み先着 350名様まで。お早めにお申し込みください。  
全自由席：前売券 1,000円(当日券 1,200円)

◆チケットの申込み・問合せ先

高津区文化協会へ(枚数・氏名・電話を明記)

ホームページ (<https://takatsu-bunka.org/>) : 高津区文化協会 [検索](#)

メール : [info\\_tcass2020@takatsu-bunka.org](mailto:info_tcass2020@takatsu-bunka.org)

ハガキ : 213-0001 高津区溝ノ口1-4-1 高津市民館内 高津区文化協会「講演会」係

電話 : 事務局(田村) 090-9314-1430(平日10時~17時)

※右のQRコードもご利用ください。高津区文化協会のQRコード⇒



※会場は感染防止対策済みです、マスク着用でご来場ください。  
発熱等の症状がある場合、ご来場はご遠慮ください。

主催：高津区文化協会(事務局 090-9314-1430)

共催：川崎市/川崎市教育委員会

高津市民館アクセス

